

NSF、科学者の国際共同研究の実態に関する報告書を発表（8月30日）

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）が発表した、米国の科学者及びエンジニアの国際共同研究の実態に関する報告書「米国の科学者及びエンジニアの国際共同研究（International Collaborations of Scientists and Engineers in the United States）」によると、調査対象となった米国の科学者・エンジニア 1,892万7,000人のうち、6人に1人が外国に住む研究者と共同研究をしているとの調査結果が明らかになった。

この傾向は営利組織で雇用されている高学歴の男性に多く見られるが、国際共同研究を行う傾向が最も高かったのは、米国及び外国の両方で学位を取得した層であるという。

なお、今回の分析に使用されているデータは、国際共同研究に関するデータが収集された唯一の年である 2006 年のものである。

本報告書は<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12323/>>からダウンロード可能。

National Science Foundation, International Collaboration Key to Science and Engineering
Globalization

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=125318